

はっぴーかむ新聞 ふじたしかいいん2009秋号

歯周病の原因は？

歯周病はなぜ起こるのでしょうか？ご存知の方も多いでしょうが、歯周病は歯と歯茎のあいだの”ポケット”と呼ばれる溝に住み着く細菌による感染症です。細菌の塊を〈歯垢＝プラーク〉と呼びます。歯周病は、プラークに接している歯肉に炎症が起こり、腫れたり、出血したりしながら、歯周組織を少しずつ破壊し、最終的には歯が抜け落ちてしまう病気です。

細菌による感染症といっても、人間の体には細菌やウイルスに対する防御機能が備わっていますから、歯周病の原因菌が住み着いても必ずしも歯周病になるとは限りません。

しかし口腔清掃が不良になって、プラーク中の細菌が増えたり、体の抵抗力が弱まって、細菌や毒素の活動を活発にさせるような環境であるなどの理由によって歯周病が発症しやすくなります。その発症にかかわる原因は、歯周病菌であり、その他に喫煙(最大の危険因子)¹⁾、加齢、骨粗しょう症、精神ストレス、腎臓疾患、などの病気や遺伝的なこと、かみ合わせと歯並びの不整などの危険因子があげられます。さらに食習慣、飲酒などの生活習慣も歯周病を起こしやすくなります。歯周病は感染症であるのと同時に生活習慣病でもあるわけです。

バイオフィームや口腔の細菌が悪化する!?

主に風邪のばい菌やインフルエンザのウイルスは鼻腔粘膜や咽頭粘膜で付着して感染します。咽頭粘膜は人体体液由来の蛋白質の粘膜で守られ、インフルエンザウイルスや外来のばい菌の付着感染を自ら防ぐ働きがあります。ところが口腔の細菌はその咽頭粘膜の大事なたんぱく質の膜をプロテアーゼという蛋白分解酵素を出して破壊してしまいます。蛋白質の膜を破壊された、咽頭の粘膜は非常にインフルエンザウイルスの付着し易い状態となってしまう、ウイルスに感染してしまいます。つまり口腔のバイオフィーム※や歯垢を効果的に除去すると、咽頭のたんぱく質の膜が守られ、風邪やインフルエンザに抵抗力がつくわけです。さらにバイオフィームはウイルスやばい菌をやっつけるキラーリンパ球(キラーT型リンパ球)を集めてしまう習性があります。お口のバイオフィームが多いと体中のキラーリンパ球を口に集積させてしまいます。除去すると口以外の体に戻る量は相当量といわれ、血液検査すると大体除去前の1.5倍くらいまで増えるといわれております²⁾。バイオフィームを除去すると虫歯や歯周病の予防になるのは勿論、体の免疫を増強させるのです。歯科医院の専門的な歯と歯茎のクリーニングはこれからの時期に、強力な健康維持の助っ人になります!

1)アメリカ歯科医師会誌編集長 Michael Glick 博士

2)国立保健予防科学院 口腔保健部長 花田 信弘博士による。

※口の中のばい菌がつくる糖とばい菌をミックスした膜。で歯と歯茎に付着する。

歯ブラシではとれないので、歯科医院でとってもらおう。除去後3ヶ月でまた元通り付着してしまう。